



欧州の事業拠点 U. S. Steel Košice において 持続的成長と脱炭素を両立する 9 億ユーロの投資を決定

コシツェ製鉄所に電気炉・酸素プラントを投資

スロバキア政府と 3.5 億ユーロの補助金契約を締結

日本製鉄株式会社（以下、「日本製鉄」）の欧州における主要事業拠点である U. S. Steel Košice, s.r.o.（United States Steel Corporation の 100%子会社。以下、「USSK」）は、今般、コシツェ製鉄所における電気炉建設および酸素プラント新設に関する約 9 億ユーロの投資（以下、「本投資」）を決定しました。また 9 月 15 日（現地時間）、スロバキア政府との間で補助金契約を締結し、本投資に関し、EU 近代化基金から 3.5 億ユーロの補助金を受給することとなりました。

本投資は、USSK の持続的・長期的な競争力強化と成長を実現するとともに、欧州における低炭素鉄鋼生産への転換を推進するものです。USSK は、脱炭素化の進展や市場ニーズの変化を、競争力強化と長期的価値創造の機会と捉え、お客様に対し、高品質な低 CO₂鋼材を安定的に供給してまいります。

新設する電気炉は年間約 160 万トンの生産能力を有し、2030 年の稼働開始を予定しています。既存の高炉設備と組み合わせた生産体制を構築します。これにより、高品質鋼材の安定供給と大幅な CO₂排出量削減を両立します。併せて実施する酸素プラントの新設は、製鉄所の安定操業を支える重要な基盤投資であり、エネルギー効率の向上および CO₂排出量削減に寄与します。酸素プラントは 2029 年の稼働開始を予定しています。

今回、スロバキア政府との間で締結した補助金契約に基づき、「産業競争力の強化」と「脱炭素社会の実現」という欧州官民共通の目標の具現化を目的とした EU 近代化基金から、スロバキア政府を通じて本投資に対して、総額 3.5 億ユーロ（電気炉：3.1 億ユーロ、酸素プラント：0.4 億ユーロ）の補助金が給付されることとなります。

2026 年 5 月 13 日公表の通り、USSK は 2026 年 10 月 1 日付で日本製鉄の直接子会社となり、社名を「Nippon Steel Slovakia, s.r.o.」（略称：NSSK）へ変更します。本投資は、日本製鉄の欧州事業に対する長期的なコミットメント、およびスロバキアにおける鉄鋼事業の継続的發展へのコミットメントを示すものでもあります。

日本製鉄は、NSSK をグローバル戦略における欧州の中核拠点と位置付け、欧州の政策動向を踏まえながら脱炭素の取り組みを推進していくとともに、お客様への高品質の製品・サービスの提供、雇用の維持等を通じて、欧州地域の発展に貢献してまいります。

参考：U. S. Steel Košice の直接保有化について

（2026 年 5 月 13 日付プレスリリース）

https://www.nipponsteel.com/newsroom/news/2026/__icsFiles/afieldfile/2026/05/13/20260513_100.pdf

お問い合わせ先：<https://www.nipponsteel.com/contact/>